

鶴子銀山(18)「一心を万金に」秋田権右衛門の教え

秋田権右衛門には子どもがいなかったため、秋田から甥の権九郎を呼び寄せました。寛文5(1665)年権右衛門が没すると、権九郎はその名跡を継いで鶴子の数々の間歩を稼ぎ、「銀山巧者」の名声を高めました。しかし、元禄9(1696)年、稼ぎの中心だった仕出喜間歩が、排水に多額の費用がかかり破棄されるなど徐々に衰えていきました。



沢根の西野にある秋田権右衛門家墓地

その頃と思われるエピソードが、文化年間(1804~18)に編まれた『佐渡奇談』に記述されています。

―彼は多くの金銀を掘り、家は栄えたが蓄える心はなかった。友人らが子孫のために財産を残すように進めても、千両箱を一つ取り出して、これで充分、心配するなど語り、日々酒を飲み戯れて天寿をまっとうした。後に皆がその千両箱を開けると、中に石が詰まっていた、歌が一首書かれた紙切れが添えられていた。その歌にいわく―

「千両のこがねは石に異ならずただ一心を万金にせよ」

元禄16(1703)年権右衛門が没した後、子孫たちは「一心を万金に」の教えの通り働いたので、残された立派な墓地が、それを物語っているようです。

産業観光部世界遺産推進課

☎ 63-5136

～地域の魅力をサポートします～

われら地域おこし協力隊

特別な味！

子どもたちが作る自然栽培米！！



世界農業遺産 潟上地区担当
青木 秀輔

11月19日に開催された地産地消フェスタの佐渡Kids生きもの調査隊ブースで、子どもたちが育てた自然栽培のお米販売のお手伝いをさせていただきました。

精米60キロ、玄米40キロを販売し、購入していただいた方に、田んぼアートで収穫した黒米と佐渡Kids生きもの調査隊の活動パンフレット、朱鷺のポストカードを特典としてプレゼントしました。

また、ステージでは、子どもたちがゲストの方とトークセッションを行い、生きもの調査隊の活動について緊張しながらも紹介していました。

1年間Kids生きもの調査隊に携わり、田植えからお客さまの手元までお届けするお手伝いをスタッフとして

することができ、貴重な経験となりました。

子どもたちが作る自然栽培米は、全国でも珍しい価値がある取り組みだと思います。

来年も生きものを育むおいしいお米を育て、お米とともに子どもたちと成長していきたいと思っています。

産業観光部農業政策課 トキ保護係

(トキ交流会館) ☎ 24-6040



みんな頑張って販売し、無事完売しました！